

第615号



喬木村公民館：長野県下伊那郡喬木村6664



発行日 2020年6月16日
発行責任者 喬木村公民館長 徹
市 瀬 編集責任者 公民館編集部 志
仲 田 久 印刷 龍共印刷株式会社

「日高山伏物語」
昭和四十五年四月
その二「武岡の畑」
「山伏どのは、武岡に、そ
うとうの広い畑をもつてい
た…」

この畑までいくには、遠
いし、坂道もあるし、耕作
するのに骨がおれます。山
伏どのは、何かよい工夫は
ありません、目をまわさ
おくさんは、目をまわさ
ないものかと、つねづね考
えているのです。
おくさんが心配して「ぼ
つぽつまきまきの準備にかか
りませぬ」といいます。
「おまえらにいわれなく
とも、ちゃんとわかっ
ることしは、とくべつね
んいりに、たがやそうと考
えているのだから。…今夜
から…」と答えます。

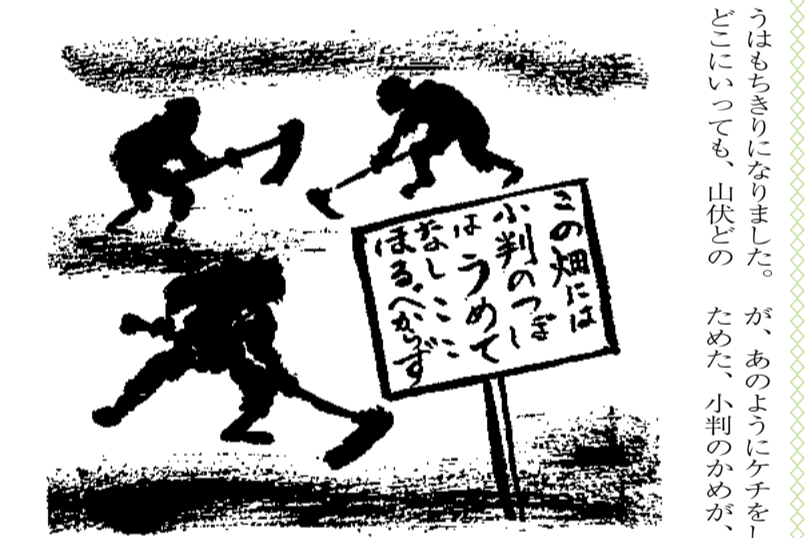
この話で鹿兒島の町じゅ
この話で鹿兒島の町じゅ
この話で鹿兒島の町じゅ
この話で鹿兒島の町じゅ

『棕鳩十全集』 掲載作品
久保田 毅
棕鳩十全集十二
「日高山伏物語」
昭和四十五年四月
その二「武岡の畑」



伊久間原ポピー園の様子

伊久間原ポピー園



「この畑には
小判のつぼ
はうめて
ほろ(か)らす」
この話で鹿兒島の町じゅ
この話で鹿兒島の町じゅ
この話で鹿兒島の町じゅ
この話で鹿兒島の町じゅ

十六年前「ライフの会」
を立ち上げたきっかけは憲
法改正が叫ばれ始めたこと
でした。子どもたちが戦争
で犠牲にならないでほし
い、子どもたちに戦争で人
殺しをさせたくないとい
う思いと、武器による平和は
あり得ない、子どもたち、
孫たちの将来が平和で
あつてほしいとの強い思い
から、女性四人で立ち上げ
ました。

「ライフの会」から
「公民館平和学習会」へ
し、ライフの会だけでは「平
和の輪」が広まらないと思
い、公民館にお願いして、
平成十八年に「公民館平和
学習会」を開くことが出来
るようになりました。公民
館活動で平和学習会を行っ
ているところは他には無い
のではないのでしょうか。

今年度、公
民館平和学習
会となつて十
五年目を迎え
ます。今年中
に五十回目的
節目の学習会
を迎えるので、
記念の学習会
として「タテ
タカコ・安田
奈津紀 ライ
ブ&トーク」
(仮名)を予
めてあるとか、あの立て札
に書いてあるとおりうめて
ないとか、さわぎたてるの
でした。

定めています。若い方が
これからの自分たちの時代
の問題として、平和につい
て考えるきっかけとしても
もらえることを願っています。
公民館平和学習会をコ
ツコツ続けることで「平和
の輪」が広がっていくこと
を願っています。
平和学習実行委員会
矢澤恵美子



平成24年8月 第20回平和学習会

令和二年度成人式
開催延期のお知らせ
喬木村では今般の新
型コロナウイルスの感
染拡大を受け、例年
八月十五日に開催し
ております成人式を、
二〇二一年一月三日に
延期することを決定し
ました。
なお今後新型コロナウイルス
ウィルス感染症の感染
状況により、予定日を
更に変更する可能性が
ありますが、皆様のご
理解とご協力をお願い
します。

「#検察庁法改正案に抗
議します」。多くの芸能人
などが声をあげたことで注
目され、検察の独立性、三
権分立を揺るがすと懸念さ
れた検察庁法の改正は、思
わぬ事件の発覚で自然消滅
したかのようだ。日本では
今まで、芸能人などの有名
人が政治的な意見を表明す
ることはほとんどなかつ
た。しかし、欧米では当たり
前のことで、市民の代表で
もある有名人は、自分の考
えを明確に発信することが
ある意味求められている。
モデルの紗栄子さんは、
新型コロナウイルスへの対応で苦勞
している医療従事者に医療
用防護マスクを寄付するこ
とを公表した。公表するこ
とに対し「売名行為だ」と
批判する声があることを承
知の上であえて公表するの
は、「寄付文化が根付いて
いない日本にとって意義の
あることだと思ふから」と
言っている。芸能人の
「#検察庁法改正案に抗議
します」も、十年前(東日
本大震災後)から積極的に
ボランティア活動、寄付活
動に取組む紗栄子さんの公
表も、私は社会に影響を与
えるという意味で大事なこ
とだと思っている。芸能人
などの意見や行動を100%肯
定する必要もなければ否定
する必要もない。要は、発
信力のある芸能人の意見表
明をきっかけに、我々が政
治に、ボランティア活動に
関心をもち、自分の意志で
具体的な行動に移していく
ことだ。よりよい社会づく
りのために、我々が当事者
として関わっていくことが
求められている。(館長)

喬木の子どもたち ーようじくー おねがいします

今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、通常とは違った自粛した入学式となりました。今回保護者の皆さんと、学校を支えてくださる地域の皆さんに、新しく赴任された先生を学校毎に紹介します。



喬木中学校



第一小学校



第二小学校

市岡 弘子(特別支援教育支援員)
小島 重樹(二年一組担任数学)
鳥羽 萌香(二年一組担任数学)
海野 晃平

春日 直史(教頭)
池上 美香子
子どもと親の相談員

北沢 敦(校長)
塩澤 笑花(四年)
青嶋 裕子(養護教諭)

百情障学級学A担任保健体育・国語
西澤 彩奈
三年・百情障学級学B担任社会
庄田 秀俊(初任研指導教員)
松崎 未来
百情障学級学2B担任国語

新谷 史織(二年一組)
毛涯 計人(初任研指導教員)
村澤 真世(三年一組)
大島 佐代子(SSスタッフ)
曾根原 亮(五年一組)

矢澤 善夫
初任研修コーディネーター

たかぎ俳句会 皋月旬会

五月雨の冷たき朝に母は逝く
子燕や花開くごと口開けて
新緑の香に包まれし毘沙門堂
夏初め俳句に挑む卒寿かな
逝きし子は二歳のままや白帽子
花あざみモンペの少女背板負ふ
母の日やテイクアウトの味たしか
セーラーの風にふくらむ更衣

筒井 政美
市瀬 千文
西元くにこ
市橋 ヨリ



村の偉人 長谷川石峰 (1880~1904)

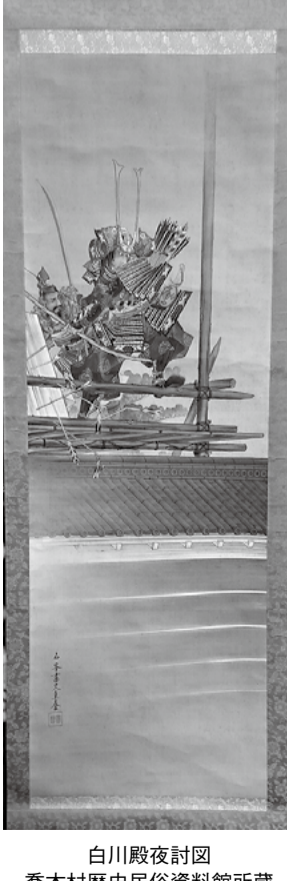
明治という新たな時代を迎えて、日本画は科学的な視点で描く西洋画の手法の影響を受けます。それは伝統的な価値観や文化的な理念までも変化させようとしていました。日本画家達も一度日本文化に向き合うことに活路を見いだそうとし、歴史画を生み出しました。新時代の潮流の中で、歴史画に真摯に向き合った喬木村出身の若き画家、長谷川石峰を紹介します。

石峰は明治十三年(一八八〇)五月一日、喬木村阿島に、父長谷川範七、母三保の次男として生まれた。本名は二郎といい、兄に後に歌人として知られる一郎(喬村)がいた。

生家の長谷川家は代々近郡屈指の豪農として名を馳せ、石峰の祖父半七の代には、酒造業も営んで、旗本阿島知久氏の御用達も勤めた富裕家であった。半七は三友とも号し、誌歌・茶湯・

生花・謡曲・管弦などを嗜んだ文雅に秀でた人物でもあった。阿島小学校の建設にも尽力、貧困子弟には学資の援助をするなど、教育の普及にも力を注いだ。

石峰が、いつ頃から画家を志したか、明らかになる資料は残っていないが、「美術新報」に載る死亡記事によると、明治二十九年(一八九六)に上京し、滝和亭に師事したと伝えている。石峰が師事したという滝和亭は、東都画壇で活躍した南画家である。かつて長谷川家にも訪れたよう



白川殿夜討図 喬木村歴史民俗資料館所蔵

椋鳩十記念図書館

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、記念館・図書館をご利用の際、来館者の皆さまにはご不便をおかけしています。しかし、皆さまのご協力により、開館を続けることができていることに感謝申し上げます。また、終息しないうちは、油断もできません。状況はありますが、さらに予防に努めて開館していきたいと思っております。

また、中止となっていた未就園児親子対象の「おはなし会」ですが、全国の「緊急事態宣言」解除を受け、六月下旬より再開することになりました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、記念館・図書館をご利用の際、来館者の皆さまにはご不便をおかけしています。しかし、皆さまのご協力により、開館を続けることができていることに感謝申し上げます。また、終息しないうちは、油断もできません。状況はありますが、さらに予防に努めて開館していきたいと思っております。

「おはなし会」再開の予定
【絵本の会】
六月二十四日(水)
七月二十二日(水)
【おはなしのへや】
七月八日(水)

【今後の予定】
【絵本の会】
六月二十四日(水)
七月二十二日(水)
【おはなしのへや】
七月八日(水)

前回は「マスクがない」とここで書いて数か月。まさかこれ程まで大ごとになるとは思わなかった新型コロナウイルス感染症の猛威。すっかり生活も意識も変わってしまった。それでも、季節はどんどん移り変わり、山も濃い緑に衣替えをした。また、田植えの進んだ田んぼ、葉を生い茂らせる果樹、畑でも夏野菜が育ち、家に籠ってばかりいられないのが田舎の大変さだが、良いところでもあると感じる。「新しい生活様式」を実践しつつ、ウイルスと共存する世界を模索し続けたい。

編集後記

前回は「マスクがない」とここで書いて数か月。まさかこれ程まで大ごとになるとは思わなかった新型コロナウイルス感染症の猛威。すっかり生活も意識も変わってしまった。それでも、季節はどんどん移り変わり、山も濃い緑に衣替えをした。また、田植えの進んだ田んぼ、葉を生い茂らせる果樹、畑でも夏野菜が育ち、家に籠ってばかりいられないのが田舎の大変さだが、良いところでもあると感じる。「新しい生活様式」を実践しつつ、ウイルスと共存する世界を模索し続けたい。